

科目名	特殊演習（3） C [院]					単位	4.0
担当教員	服部 仁						
授業形態	演習	開講期間	通年	配当年次	3	授業番号	4388

●授業のテーマ

『二十四輩巡拝図絵』

●到達目標

作者の執筆意図を理解し、その上で、江戸時代の読者の受容態度について判断できるようになる。

●学習内容(授業概要)

まず、江戸時代後期の戯作と呼ばれる作品群の、様式・形態とジャンルとの相関関係を概観する。その上で、『二十四輩巡拝図絵』を、原文のコピーで読んでいく。『二十四輩巡拝図絵』の構成や、執筆意図についても触れてみたい。さらに、『二十四輩巡拝図絵』の及ぼした影響についても考察してみたい。

なお、原本のコピーをテキストとするので、基礎演習で変体仮名を学んでいて、変体仮名が読める者が受講して欲しい。

●学習内容(授業計画)

≪前期≫

1. 作者
2. 絵師
3. 江戸の出板
4. 出板書肆
5. 登場人物
6. 登場人物
7. 登場人物
8. 登場人物
9. 登場人物
10. 登場人物
11. 登場人物
12. 登場人物
13. 登場人物
14. 登場人物
15. 『二十四輩巡拝図絵』の地図

≪後期≫

1. 作者
2. 江戸時代の出板
3. 出板書肆
4. 登場人物
5. 登場人物
6. 登場人物
7. 登場人物
8. 登場人物
9. 登場人物
10. 登場人物

11. 登場人物
12. 登場人物
13. 登場人物
14. 登場人物
15. 『二十四輩巡拝図絵』の意図

●準備学習・事後学習の内容

授業の関連事項を予習し、復習しておくこと。

●成績評価方法・基準

学期末試験によって評価（100%）する。

●テキスト（必携）

授業時に原本の写しを配布する。

●参考文献／その他

特になし。

●履修上の注意

皆出席は当然です。